



園と共に歩む 幼児教育アドバイザーを 目指して

～よさや可能性に気付く風を吹かせよう！～

キャリアを生かして新しいステージへ	1
● 幼児教育アドバイザーの役割と資質能力	2
訪問支援の流れと保育観察のポイント	3
アドバイスのヒントとなる記録の取り方・考え方	5
研修・相談の進め方	7
仲間と共に保育の質向上につなげる喜びを	9
共に歩む幼児教育センター	10

キャリアを生かして新しいステージへ

～幼児教育アドバイザーとしての第一歩のために～

新しく幼児教育アドバイザーになった皆さんは、これまでのキャリアの中で、たくさんの体験を積み重ねられたことでしょう。

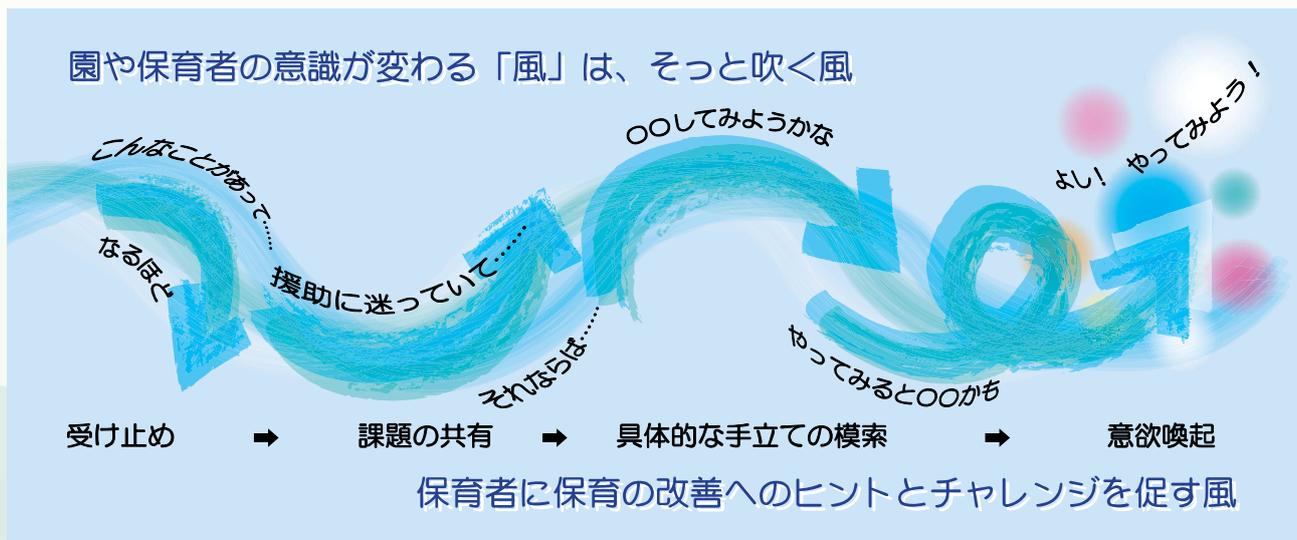
これからの幼児教育を担う保育者に、伝えたいこともたくさんあるでしょう。

新しいステージに立って、ドキドキ・ワクワクする思いもあるでしょう。

このリーフレットは、幼児教育アドバイザーとして、**どのような姿勢で、どのような支援をすることが求められているのか**、まず感じ取っていただくために作成しました。

各園では、訪問支援を受けることに緊張しつつも、**保育の質向上につながるヒントや新しい情報を得たい**と期待しています。

これまでのキャリアを生かし、「こんな保育をしたい!」という保育者の思いを実現するための具体的な方法を一緒に考え、**保育者の背中を押す「風」**を吹かせましょう。



～共に歩む姿勢で臨もう～



幼児の世界観を保育者と**共に楽しむ姿勢**

「子供って大人が思い付かないようなことを考えますよね」



保育者と**共に学び続ける姿勢**

「なるほど、そういう考え方ができますね」



幼児や保育者の変容に**気付き共に喜ぶ姿勢**

「子供たちが工夫して遊ぶようになってきましたね」

幼児教育アドバイザーの役割と資質能力

～幼児教育アドバイザーの役割を知ろう～

思いを支える サポーター

園や保育者の思いに寄り添い、実現できるような方法を一緒に考えます。



方向性を導く リーダー

やってみたいと思うような方向性を保育者と語り合い、伴走しながら導き出します。

調整する コーディネーター

訪問支援の日程や支援の方向性、外部との連携等、新しい風を起こすきっかけづくりをします。

発言を促す ファシリテーター

誰もが気軽に話せるように、参加者の意見を「引き出す・受け止める・束ねる・導く」などします。

協働する コラボレーター

幼児教育施設が地域社会から理解・応援されるような取組を関係機関と共に進めます。

～幼児教育アドバイザーに求められる資質能力～

これまでのキャリアの中で培ってきた力を
幼児教育アドバイザーという立場で発揮するために

保育の質を読み取る専門性

保育者の気付きを言語化する問い掛けや
協議を進める実践力

国や自治体の今後の方向性に関する
情報活用能力

が求められます。

